

生活科の実践



札幌市

自然物から季節の変化を感じる

生活科

1年

あきをたのしもう

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



この単元は、内容（3）（5）（6）（9）に関連して、身近な自然にかかわり、季節の変化に気付くとともに、落ち葉や木の実を生かしてたのしく遊ぶことをねらいとしました。

そこで地域の様々な場所から季節の変化を感じるもの、作ったり遊んだりできるものを発見しながら、秋を楽しませていくのです。

学習活動の流れ（17時間）

葉っぱや実をみつけに行こう（5）

- 今までなかったどんなものがあるかな？
- 学校の周りにはあるかな
- 公園の方にはどうだろう

集めた葉っぱや実を使って遊ぼう（5）

- 何かできないかな？
- いろいろな色の葉っぱを使って
- 松ぼっくりをボールの代わりにして
- 飾りが作れそうだよ
- 枝を使って何か作れないかな？
- 作ったおもちゃやゲームで遊んでみよう

たのしい遊びをみんなに紹介しよう（7）

- 作り方を教えよう
- 作ったおもちゃやゲームで遊んでもらおう
- お店みたいにしたらたくさん遊べるね
- ものづくりコーナーや遊びコーナーをつくろう
- みんなで遊んで楽しかったね
- みんな工夫していたよ

色・形・大きさなどに着目して、素材の違いに気付いたり、そのものの特徴を生かしてものづくりができるようにしました。

どうやったらもっと面白いか、もっとわかりやすいか考えることで、お客様という相手を意識できるようにしました。

秋の自然の中で遊んだり発見したりする実践です。季節の変化や素材の違いに気付いたり、自然物を生かして遊んだりした子どもたちは、朝、休み時間、放課後を問わず、秋を見つけて楽しむようになりました。



みつけ!!

教材・活動の Point!



1. 秋の素材集めの意欲を高める

秋探偵団と称して、日常的に見付けた秋を伝え合うことで、秋さがしへの意欲を高めます。道具箱を自分専用の宝箱にして、見付けたものをどんどん集めていくようにしました。また教室には「葉っぱ隊の木」を設置し、見付けた葉をどんどん貼っていくようにしました。いろいろな種類のものに目を向けていくようになりました。

2. 木の葉や木の実の違い、季節の変化に着目する

子どもの関心の高かった葉に焦点を当てて、いろいろな葉っぱ集めをしました。種類や夏との比較をしていくことで、色・形・大きさの違いや季節の変化に気付いていきました。ドングリやマツボックリといった木の実も、その特徴に目を向け、同じものでも形や色が違うことに気付いていきました。



3. 相手意識をもって工夫する

最後は、お客さんに楽しんでもらうために工夫しました。自分のお店をどうやったら面白くできるか、お客さんにやり方を説明するにはどうしたらいいかといったことをかんがえたのです。景品を考え出したり、点数をつけたりと遊びがどんどんレベルアップしていきました。

